

平成 2 年度畑作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 2 年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討会を平成 2 年 12 月 7 日、植調会館会議室において開催した。

本年度供試された畑作関係除草剤は、定性試験 3 剤、作用性試験 19 剤、適用性試験 21 剤であ

った。

このうち、適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行な

った。

その結果は、次表の通りである。

平成 2 年度 畑作除草剤試験中央判定および使用基準

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／ a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
1. アイオキシニ ル ・アイオキシニ ル………30%	大 豆	「継」								・初年目，効果， 薬害の再検討．
	小 豆	「継」								・初年目，効果， 薬害，処理時 期の検討．
	菜 豆	「継」								・初年目，効果， 薬害の再検討．
	ばれい しょ	「実」	一年生 広葉雑 草	茎 葉	萌芽直 前	10～15	全土壌	寒 地		
						m/				
					15～30 m/		寒冷地 温暖地 暖 地			
春播大 麦	「実」 前年どおり	一年生 広葉雑 草	茎 葉	大麦 4 ～ 5 葉 期	10m/	全土壌	寒 地			

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
2. ANK-553 細粒 ・ペンディメタ リン……30%	とうも ろこし	「実・継」 前年どおり	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後 雑草発 生前	500～ 600 g	全土壌 （砂土 を除く）	寒冷地 温暖地 暖 地	・砕土・整地・覆 土は丁寧に行っ て均一散布に留 意する。	・地域拡大
	春播小 麦	「実」	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後 雑草発 生前	500～ 600 g	全土壌	寒 地	・砕土・整地・覆 土は丁寧に行っ て均一散布に留 意する。	
3. B-3015・P 粒 ・ベンチオカー ブ……8% ・プロメトリン ……0.8%	菜 豆	「継」								・効果、薬害の 再検討。
4. CAT 顆粒性水和 ・CAT…50%	大 豆	「継」								・初年目、効果、 薬害、薬量の 再検討。
	かんし よ	「継」								・初年目、効果、 薬害の再検討。
5. CG-123 フロアブル ・アトラジン ……15% ・メトラクロ ール……25%	とうも ろこし	「実」	一年生 雑草全 般	茎 葉	とうも ろこし の2～ 4葉期	20～ 30ml 30～ 40ml	全土壌 -----	寒 地	・生育の遅れる地 域（根鋤など） では2葉期処理 とする。	
						寒冷地 温暖地 暖 地				
6. DH-105 フロアブル ・DH-105 ……12%	大 豆	「継」								・初年目、効果、 薬害、薬量、 処理時期の検 討。
	菜 豆	「継」								・初年目、効果、 薬害、薬量、 処理時期の検 討。
	とうも ろこし	「継」								・初年目、効果、 薬害、薬量、 処理時期の検 討。

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
7. グリホサート 液剤 ・グリホサート ……………41%	大 豆 (不耕 起)	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	播種10 日以前	25～ 50m/l (水量 10 l)	全土壌	全 域	1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。 2.少量散布の場合 は専用ノズルを 使用し均一に散 布する。	・効果の再確認。
				25m/l (水量 2.5 l)	寒冷地 温暖地 暖 地					
		落花生	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	耕起10 日以前	25～ 50m/l (水量 10 l)	全土壌	温暖地 暖 地	1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。 2.少量散布の場合 は専用ノズルを 使用し均一に散 布する。
	かんし よ	「実」	一年生 雑草全 般	茎 葉	耕起10 日以前	25～ 50m/l (水量 10 l)	全土壌	温暖地 暖 地	1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。 2.少量散布の場合 は専用ノズルを 使用し均一に散 布する。	
						25m/l (水量 2.5 l)				
8. Hoe-171 ① 乳剤 ・フェノキサ ップエチル ……………9%	大 豆	「実」 前年ど おり	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	7.5～ 10m/l	全土壌	全 域	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2.体系処理：広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	
	小 豆	「実」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	7.5～ 10m/l	全土壌	寒 地 寒冷地 温暖地	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2.体系処理：広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	
9. Hoe-866 液剤 ・グルホシネ ート…………18.5%	落花生	「実」	一年生 雑草全 般	茎 葉 (畦間 処理)	生育期	30～ 50m/l	全土壌	温暖地 暖 地	1.作物にかからな いように散布す る。 2.周辺作物に飛散 しないように散 布する。	

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
10. Hoe-86610 液剤 ・グルホシネー ト…100 g／l	かんし よ	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉 畦間処 理	生育期	40～ 75ml	全土壌	温暖地 暖 地	1.作物にかからな いように散布す る。 2.周辺作物に飛散 しないように散 布する。 3.雑草草丈20cm以 下で使用する。	・効果の再確認。
	ばれい しよ	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	植付後 萌芽前	20～ 30ml	全土壌	寒 地 寒冷地	1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。
	こんに ゃく	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	植付後 または 培土後、 萌芽前	40～ 50ml	全土壌	寒冷地 温暖地 東部	1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。
				茎 葉 (畦間 処理)	生育期	50～ 75ml			1.周辺作物に飛散 しないように散 布する。 2.作物にかからな いように散布す る。 3.雑草草丈20cm以 下で使用する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。
11. HOK-868 フロアブル ・HOK-868 ………20%	大 豆	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 2 ～4 葉 期	5 ～ 7.5ml (0.5% オイル 加用)	全土壌	全 域	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2.体系処理: 広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	・低薬量につい て検討。
	小 豆	「継」								・初年目。 ・効果、薬害、 薬量の再検討。
	菜 豆	「継」								・初年目。 ・効果、薬害、 薬量の検討。
	てんさ い	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 2 ～4 葉 期	5 ～ 7.5ml (0.5% オイル 加用)	全土壌	寒 地	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2.体系処理: 広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	・低薬量につい て検討。

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
12. HSW-881 水和 ・シンメスリン ……………9% ・リニュロン ……………7% ・IPC…15%	大 豆	「実」	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後 雑草発 生前	50～ 60m ^l	全土壌	寒 地		
	菜 豆	「実」	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後 雑草発 生前	50～ 60m ^l	全土壌	寒 地		
13. KUH-901 乳剤 ・ベンチオカー ブ……………50% ・ペンディメタ リン……………5% ・リニュロン ……………7.5%	大 豆	「継」								・初年目. ・効果、薬害の 再検討.
14. MB-206 粒剤 ・リニュロン ……………1.5%	そ ば	「実・継」	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後 雑草発 生前	500～ 600 g	火山灰 土	温暖地 東部	1. 砕土、整理、覆 土を丁寧に行い 均一に散布する.	・地域拡大.
15. Mon-8794 液剤 ・グリホサート ……………20%	大 豆 (不耕 起)	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	播種10 日以前	30～ 40m ^l (水量 2.5 l)	全土壌	温暖地 東部	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する. 2. 専用ノズルを使 用し均一に散布 する.	・地域拡大.
	かんし よ	「継」								・効果、薬害、 薬量の検討.
16. MW-851 液剤 ・ピアラホス ……………18%	大 豆	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	耕起10 日以前	30～ 50m ^l	全土壌	寒冷地 温暖地 暖 地	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する.	・効果について 再検討.
	かんし よ	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉 茎 葉 (畦間 処理)	耕起10 日以前 生育期	30～ 50m ^l	全土壌	温暖地 暖 地	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する. 2. 雑草草丈20cm以 下で使用する. 1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する. 2. 作物にかからな いように散布す る. 3. 雑草草丈20cm以 下で使用する.	・効果の再確認.

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壤	適用地 帯		使用上の注意
16. MW-851 液剤 (つづき)	ばれい しょ	「実・継」	一年生 雑草全 般	茎 葉	植付後 萌芽前、 雑草生 育期	20～ 30m ^l	全土壤	温暖地 東部 暖 地	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する。	・効果の再確認。 ・地域拡大。
17. MW-DC 水和剤 ・ピアラホス ………12% ・DCMU ………18%	落花生	「継」								・初年目。 ・処理時期，処 理法について 再検討。
	ばれい しょ	「実」	一年生 雑草全 般	茎葉兼 土壤	植付後 萌芽直 前	10～ 20g 20～ 30g	全土壤	寒 地 寒冷地 温暖地 暖 地	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する。	
	こんに ゃく	「実」	一年生 雑草全 般	茎葉兼 土壤	植付後 または 培土後、 萌芽前	20～ 30 g	全土壤	寒冷地 温暖地	1. 周辺作物に飛散 しないように散 布する。	
18. NP-55 オイル乳剤 ・セトキシジム ………12.5%	小 豆	「継」								・初年目。 ・効果，薬害， 薬量（低薬） の検討。
	菜 豆	「継」								・初年目。 ・効果，薬害， 薬量（低薬） の検討。
	てんさ い	「継」								・初年目。 ・効果，薬害， 薬量（低薬） の検討。
19. NS-112 乳剤 ・ベンフレセー ト………40%	小 豆	「継」								・初年目。 ・効果，薬害の 再検討。
	とうも ろこし	「継」								・初年目。 ・効果，薬害の 再検討。
20. S-604 乳剤 ・クレソジム ………25%	大 豆	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 3 ～ 5 葉 期	2.5m ^l (2.5m ^l はオイル 25m ^l 加用)	全土壤	寒 地	1. イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2. 体系処理：広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を	・オイル加用効 果の確認。 ・地域拡大。

薬 剤 名	作物名	判 定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理法	処理時 期	使用量 ／a	適用土 壌	適用地 帯		使用上の注意
20. S-604 乳剤 (つづき)	大 豆 つづき	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 3 ～5 葉 期	2.5～ 5m/ (2.5m/ はオイル 25m/ 加用)	全土壌	寒冷地	使用する.	
	小 豆	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 3 ～5 葉 期	2.5m/ (オイル 25m/ 加用)	全土壌	寒 地	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する. 2.体系処理: 広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する.	・地域拡大.
	かんし よ	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草 3 ～5 葉 期	2.5～ 5m/ (オイル 25m/ 加用)	全土壌	温暖地 暖 地	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する. 2.体系処理: 広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する.	・オイル加用効 果について再 検討.
					5～ 7.5m/ (オイ ル無加 用)					
	てんさ い	「実」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 3～5 葉期	2.5m/ (オイル 25m/ 加用)	全土壌	寒 地	1.イネ科雑草優占 圃場で使用する. 2.体系処理: 広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する.	
21. SL-950 フロアブル ・ニコスルフロ ン………4%	とうも ろこし	「保留」								

新刊

野外観察ハンドブック

校庭の雑草

岩瀬徹・川名興/共著 A5判/147頁/カラー写真約520点/定価1,900円

校庭や路傍で普通に見られる雑草を取り上げ、ユニークな視点からその見分けかたを展開。野外指導に携わる著者が、身近な雑草を生きた教材として活用するためにくりだした、まったく新しいタイプの野外観察図鑑。

- 雑草の「くらし」と「かたち」 ●校庭の雑草160種
- 校庭雑草の調べかた の3部構成。

全国農村教育協会 〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) ☎03(833)1821 振替/東京1-97736